

日光信号鏡の型式承認試験基準

製品試験						
試験方法			判定基準			備考
1		外観検査	1			
	1	材料、構造、寸法並びに工作の良否を仕様書又は図面と照合、確認すること。		1	仕様書どおりであること。	
2		重量計測	2			
	1	全重量を計測する。		1	同上	
3		反射試験	3			
	1	暗室において、標準電球及び照度計を使用して、距離 2m における反射光度を測定し、反射率を算出する。		1	反射率が 80% 以上であること。	
4		平面度試験	4			
	1	2m の距離における太陽光線の反射映像につき、その面積、形状を供体の有効反射鏡面と比較する。		1	映像は反射面の形状と合同であること。	
5		耐油試験	5			
	1	ガソリン中に 24 時間浸漬し、変形、変質等の異常の有無を調べる。		1	変形、変質等の異常がないこと。	

6	<p>落下試験</p> <p>1 コンクリート床においた厚さ 25 mm の堅木板上に 2 m の高さから表裏面、両側面及び角面がそれぞれ当るように各々 2 回自然落下させ、破損の有無を調べる。</p>	6	<p>1 破損がないこと。</p>	
7	<p>ひも強度試験</p> <p>1 試験片 5 個を採取し、つかみ間隔 100mm とし、毎分 200mm の速度で引張り、破断強さを測定する。</p>	7	<p>1 破断強さが 40kg 以上であること。</p>	